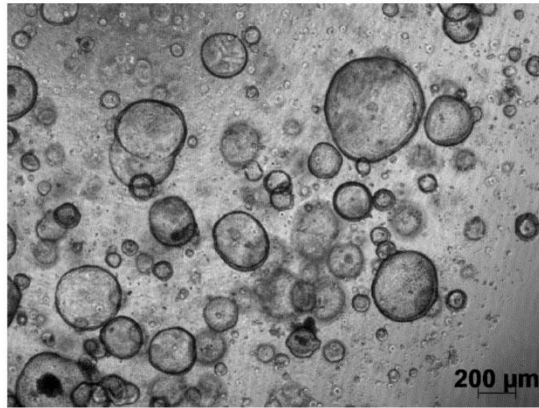


DefiniGENは世界初の『ヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイド』を商品化しました



英ケンブリッジ大学再生医療研究所からスピナウトした [DefiniGEN](#) は、Bio Japan 2017 ブースにて、新規に開発・上市したヒト iPS 細胞由来の小腸オルガノイド“[Def-INTESTINAL](#)”の展示発表を行います。

特に経口薬剤の開発において、候補化合物の腸管吸収メカニズムを精査することは重要でありながらも、現行では癌細胞由来の細胞株である Caco-2 が採用されることが一般的です。また、初代腸管組織においては、その入手の困難さ、価格、個体差バラツキ等の障害が存在すると共に、凍結保存が困難なことから、実験スケジュールを立てる際の律速にもなっていました。本製品は、製薬メーカーにおける開発品先行評価を経て、約2年間の開発の末、商品化されました。現在までに初代小腸細胞と同レベルのトランスポーター (ABCB1) の発現が得られることを確認しております。更に、Def-INTESTINAL は多くの iPS 由来細胞と異なり、解凍後、更に継代*及び増殖をさせることが可能なフォーマットになっており、実験者側の培養プラットフォームにおいて、更に CYP450 等の機能活性を向上させることも可能です。

Def-INTESTINAL は、凍結バイアルとして作製され、液体窒素コンテナでの輸送が可能です。専用の解凍・メンテナンス培地 (IRMM) を用いることにより、実験者の都合に応じて、細胞機能を回復させることが可能です。

DefiniGEN はこれまでに、内胚葉系の分化誘導プラットフォーム「OptiDIFF」を採用し、肝細胞、膵β細胞における疾患モデルを中心としたビジネスを展開しており、今後肺細胞や胆管細胞の製品化を行って参ります。

報道関係者の皆様におかれましては、この機会に弊社ブース (C-49) までお越し頂き、ご取材頂ければ幸いです。

*** ライセンスに関しては別途お問い合わせ下さい**

<本件に関するお問合せ先>

DefiniGEN Ltd. 担当：松永昌之 (ビジネスデベロップメントマネージャー)
masashi@definigen.com 050-5534-0777 (IP 電話) +44 1223 497113